

事業概要

- 東北地域の観光閑散期である冬季に「樹氷」にスポットをあて、新たな冬の東北のブランドを活かした旅行商品造成。
- 東北エリア全体での冬のキーワード「日本の冬と言えば、樹氷＝SNOW MONSTER の東北」として体験型商品も含め販売
(対象市場:台湾、中国、タイ、オーストラリア、その他)

課題

- ・ 冬(雪)を活かした訪日観光客の獲得に至っていない
- ・ 東北にとってインバウンド急増がヒトゴトである状況

事業目的

- 新たな冬の東北の広域書品を開発・ブランド化させる
- インバウンドに取組む地域のキウン醸成

主な取組

① 樹氷をフックにした冬を楽しめるコンテンツの造成

- ・青森市八甲田、北秋田市森吉、山形市蔵王を中心に雪上車による樹氷観光体験、樹氷見学付日帰りバス旅行などコンテンツを造成。また、コンテンツを活かした旅行商品を造成。

② 商品のプロモーション及び販売

- ・海外旅行博への出展及び旅行会社への営業活動を通じて「樹氷観光」を取り入れた旅行商品の造成を依頼。並行してオンラインで宿泊プランやオプションプランを販売。

③ 「東北樹氷協議会」の設立

- ・東北地方のみで見ることが出来る樹氷を、国内外に広くPRし観光振興を図るため、地方自治体、地域DMO、観光関連事業者などからなる「東北樹氷協議会」を設立。協議会のWEBサイトにて情報の発信を実施。

成果目標

- 旅行商品 45プラン
- 送客人数 3,000人
- 宿泊者数 12,000人泊

事業実績

- 旅行商品数:体験プログラム41プラン、周遊型旅行商品6プラン
- 総客人数:1,274名
- 延べ宿泊日数4,702人泊
- 商品タイプ別販売実績:FIT向け宿泊パック商品 81人泊 現地参加型OPツアー12人泊(72名実績) 在日外国人向け団体商品58人泊
- 国籍別販売実績:台湾 2,727人泊 タイ 745人泊 中国 708人泊 シンガポール 300人泊 ・その他(WEB、在日外国人) 222人泊

取組のスケジュール

- 東北樹氷協議会の設立：東北地域の新聞社、観光施設、自治体15団体からなる協議会の設置（6月）
- 協議会のホームページ（とうほく創生Genkiプロジェクト.）による関連映像、情報配信（9月～）
- 海外営業（現地旅行博出展等）
 - ・Snow Travel Expo 2016（オーストラリア）（5月）・Snow & Adventure Travel Mart Sydney（オーストラリア）（5月）
 - ・Visit Japan 上海・大連広域連携商談会（中国）（10月）・日本東北遊楽日2016 だいすき♡東北（台湾）（12月）
 - ・海外旅行代理店への情報発信の実施（オーストラリア18社、中国21社、台湾19社、タイ18社）（7月、10月）
- 在日外国人に対しての情報発信
 - ・英字フリーマガジン（WAttention）に記事掲載。（5月、8月、3月）

成 果

・地域の関係者を巻き込み事業を推進することで、これまでにない新しい樹氷体験プログラムを造成。

【造成した商品の例】

宿泊パック・着地型商品

団体ツアー				
台湾	蔵王樹氷	山形	東北六県	SNOW MONSTER 宿泊プラン（31施設）
台湾	蔵王樹氷・現美新幹線	宮城・山形	青森県	八甲田スノーシュートレッキングプラン
中国	TOHOKU 和風旅情（スキー&樹氷）	青森・岩手・宮城・山形・福島	岩手県	七滝氷瀑ツアー
シンガポール	TOHOKU SNOW MONSTER 他3コース	青森・岩手・宮城・山形・福島	秋田県	森吉山樹氷観賞プラン
			宮城県	ワイルドモンスター号樹氷めぐり
			山形県	ナイトクルーザー号で行く樹氷幻想回廊ツアーライトアップ観賞プラン
			福島県	裏磐梯スノートレッキングプラン

事業終了後の動向

- ・2次交通も含めた商品開発と販売。他の雪関連商品との連携。
- ・議会による「TOHOKU SNOW MONSTER」ブランドの継続的な推進。（平成29年度は青森県で樹氷サミット開催）